

報告第8号

令和元年度渋川市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第146条第2項の規定により、令和元年度渋川市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書を次のとおり報告する。

令和元年度渋川市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳						
					既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源		
						その他	国県支出金	地方債		その他	
					円	円	円	円	円	円	
1	総務費	1 総務管理費	一般経費	12,419,000	12,419,000						12,419,000
2	事業費	1 公共下水道建設事業費	建設事業(公共下水道)	131,368,000	131,368,000		65,150,000	56,800,000			9,418,000
合計				143,787,000	143,787,000		65,150,000	56,800,000			21,837,000

※令和2年4月1日からの下水道事業等の地方公営企業法(昭和27年法律第292号)適用に伴い、地方公営企業法施行令(昭和27年政令第403号)第4条第5項の規定により、令和2年度渋川市下水道事業等会計で使用するもの

令和2年6月12日提出

渋川市長 高木 勉

報告第8号 参考資料

令和元年度渋川市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書(参考資料)

款	項	事業名等	繰越明許費額 円	翌年度繰越額 円	概要	工期等	請負業者	繰越しとなった理由
1	1	一般経費	12,419,000	12,419,000				
		下水道台帳補正業務委託	—	12,419,000	・下水道台帳更新業務 管渠 L=8.2km 人孔、取付管、樹 N=899か所	令和元年 8月28日 ～ 令和 2年 5月29日	技研コンサル(株) 渋川営業所	・令和元年台風第19号に係る災害復旧の調査・ 設計の対応を優先するため、受注者からの申し 出を受け、業務の一時中止措置をしたことから、 適正な委託期間を確保するため
2	1	建設事業(公共下水道)	131,368,000	131,368,000				
		公共渋川污水管布設工 第13工区工事	—	3,758,000	・污水管布設工事 施工延長 L=74.5m 管布設工 VUφ200mm L=72.3m マンホール工 0号マンホール N=2か所 塩ビ製小型マンホール N=5か所 付帯工 一式	令和元年 8月 2日 ～ 令和 2年 5月20日	(株)進和工業	・関連する国土交通省の渋川西バイパス工事 が延期となったことから、適正な工期を確保す るため

款項	事業名等	繰越明許費額 円	翌年度繰越額 円	概要	工期等	請負業者	繰越しとなった理由
	公共渋川污水管布設工 第16工区工事	—	5,610,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・污水管布設工事 施工延長 L=58.1m 管布設工 HP φ 600mm L=3.3m VU φ 200mm L=51.7m</li> <li>マンホール工 0号マンホール N=1か所 2号マンホール N=2か所 塩ビ製小型マンホール N=1か所</li> <li>・公共樹及び取付管設置 工 N=3か所 付帯工 一式</li> </ul>	令和元年12月10日 ～ 令和 2年 6月30日	幸野建設(有)	・関連する渋川土木事務所の(主)渋川松井田線 改良工事が延期となったことから、適正な工期を 確保するため
	物聞沢水質管理セン ター建設工事	—	122,000,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木工事 沈砂池工 一式 散水ろ床工 一式 最終沈殿池工 一式</li> <li>・電気設備工事 一式</li> </ul>	令和元年 6月11日 ～ 令和 2年 7月31日	地方共同法人 日本下水道事業団	・工事のための用地の借用協議や、土壌汚染対 策法の申請書類作成、協議及び受理に不測の 日数を要したことから、適正な工期を確保するた め
合 計		143,787,000	143,787,000				